

専攻科目及び指導教授並びに主たる研究内容

- ・ <専攻> 医科学専攻
- ・ 専攻科目は2019年度（平成31年度）予定
- ・ *印は臨床医学に属する科目
- ・ 指導教授欄の括弧つきの氏名は研究指導補佐

<研究分野> 形態系分野

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 検証病理診断学	森谷 卓也 (病理学)	1) 各種疾患の病理形態が与える臨床病理学的意義に関する解析 2) 免疫組織化学を用いた機能形態学的検討と、その臨床病理学的解析 3) 乳腺疾患の発生と進展に関する病理学的研究
* 外科腫瘍学	上野 富雄 (消化器外科学)	1) 抗癌剤、放射線体制機構の解析と効果増強に関する研究 2) 栄養素の腫瘍増殖に及ぼす影響とその機序の解析 3) 抗癌剤血中濃度の個体差に影響する因子の検討 4) Surgical oncotaxisにおける機能解析とその臨床応用に関する研究 5) 消化器癌切除後の消化管再生に関する研究 6) 間葉系幹細胞を用いた再生医療に関する研究 7) 膵癌の癌幹細胞を用いた研究 8) 肝胆膵癌の分子標的治療に関する研究 9) 消化管運動測定による術後再建法に関する研究
* 放射線腫瘍学	平塚 純一 (放射線腫瘍学)	1) 高精度放射線治療に関する研究 2) 硼素中性子捕捉療法 (BNCT) の研究 3) 前立腺癌組織内照射治療の研究 4) 小線源を用いた加速乳房部分照射 (APBI) の研究
* 腺腫瘍学	紅林 淳一 (乳腺甲状腺外科学)	1) 乳癌のホルモン依存性・抵抗性に関する研究 2) 乳癌・甲状腺癌の分子標的治療に関する研究 3) 乳癌・甲状腺癌の治療効果予測因子及び予後予測因子に関する研究 4) 乳癌・甲状腺癌の癌幹細胞に関する研究
* 消化管病態学	塩谷 昭子 (消化管内科学)	1) 消化管疾患における腸内細菌叢の解析 2) 消化管癌の発癌機序及び予防に関する研究 3) 機能性消化管疾患の病態と診断・治療に関する研究 4) 炎症性腸疾患の病態と治療に関する研究
* 放射線診断学	玉田 勉 (放射線診断学)	1) マルチパラメトリックMRIを用いた泌尿器癌（前立腺癌、膀胱癌）の診断法の確立に関する研究 2) 肝特異性MRI造影剤を用いた肝細胞性結節の診断に関する研究 3) 非造影MRIを用いた腎機能評価法の確立に関する研究 4) 非造影MRIを用いた膵液・胆汁の循環動態イメージングの確立に関する研究 5) MRIを用いた機能・代謝・血流画像診断の臨床応用に関する研究 6) Radiomicsによるオーダーメイド医療を発展させるための研究 7) IVR：変形性関節症及び人工関節置換術後の疼痛に対する経動脈的微小血管塞栓術の臨床応用に関する研究 8) IVR：原発性アルドステロン症の診断における新たな副腎静脈サンプリング法の開発に関する研究
* 画像診断・応用診療学	加藤 勝也 (総合放射線医学)	1) 職業関連呼吸器疾患に関する研究 ・ 石綿関連肺胸膜病変の画像診断 ・ じん肺症の診断基準及び手法 ・ ベリリウム肺の画像診断 2) インターベンショナルラジオロジー (IVR) ・ 永久塞栓ビーズを用いた動脈塞栓術

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
統合形態学・神経科学	樋田 一徳 (解剖学)	1) 脳科学の形態学的基礎：三次元微細構造、シナプス神経回路、調節系に関する機能形態学的研究 2) 組織・細胞の微細構造の解析 3) 生殖腺間質細胞の分化メカニズム解明を目的とした形態学的・発生工学的アプローチ 4) 生殖腺間質細胞の遺伝子発現機構のジェネティック・エピジェネティック解析
* 超音波診断学	畠 二郎 眞部 紀明 (検査診断学 (内視鏡・超音波))	1) 超音波を用いた微細循環評価に関する研究 2) 超音波による消化管疾患の診断に関する研究 3) 超音波を用いた組織弾性の評価に関する研究
* 腫瘍病態治療学	山口 佳之 (臨床腫瘍学)	1) 腫瘍局所におけるリンパ球浸潤と免疫チェックポイント分子の発現および変異抗原 (Neo-antigen) に関する分子免疫学的解析 2) 化学放射線療法に伴う宿主免疫病態の分子免疫学的解析 3) がん緩和ケアにおける宿主免疫病態の分子免疫学的解析 4) 抗腫瘍性リンパ球の誘導、機能解析と新規免疫療法開発の臨床研究 5) がん化学療法と新生血管前駆細胞の分子生物学的解析 6) 難治癌におけるがんゲノム解析及びバイオマーカーの探索的研究
* 呼吸器腫瘍学	中田 昌男 (呼吸器外科学)	1) 肺癌におけるシグナル伝達とバイオマーカーの遺伝子学的解析 2) 肺癌における局所免疫とその病態に関する研究
* 腫瘍外科・総合外科学	山辻 知樹 (総合外科学)	1) 臨床腫瘍外科学：消化器・呼吸器・乳腺悪性腫瘍の予後改善を目指した臨床研究 ・食道癌に対する低侵襲術式の開発 ・High Resolution Manometryを用いた消化管運動機能の評価 ・安全な食道癌周術期管理技術の開発 ・QOLを重視した新規化学療法レジメンの開発 ・SSIサーベイランス ・肝胆膵領域の安全な手術術式及び周術期管理法の開発 ・エラストグラフィを用いた乳癌超音波診断法の開発 2) 心臓外科学・血管外科学 ・低侵襲心臓手術の開発 ・止血剤の有用性の解析 ・3-DCTを用いた冠動脈・僧帽弁・左心耳の解剖的解析 ・ASOに対する血管内治療 ・大動脈ステントグラフトの開発 ・シャント閉塞に対する血管内治療 ・下肢深部静脈血栓症に対する腸骨静脈ステントの有用性 ・下肢静脈瘤に対する新規レーザー治療法の開発 3) バイオシグナル研究 ・5-アミノレブリン酸を用いた抗がん剤誘発腎障害に対する新規予防法の開発 ・ミッドカイン阻害剤を用いた非小細胞肺癌及び胸膜中皮腫に対する新規補助療法の開発 ・ゲノム編集技術を用いた肺扁平上皮癌に対する新規治療法の開発 4) 体組成評価 ・In Bodyを用いた最適な周術期管理の確定

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 消化器侵襲的画像診断治療学	河本 博文 (総合内科学2)	1) 従来、高度な技量が要求される診断・治療法の普遍化、安全性の向上にかかわる研究 2) 新たな低侵襲治療法、デバイスの開発にかかわる研究 3) 消化器内視鏡の高度技術獲得のための効果的トレーニング方法にかかわる研究 4) 消化器癌による臨床症状を緩和するための研究 5) 超音波内視鏡下診断治療にかかわる研究
* 腫瘍内科学	瀧川 奈義夫 (総合内科学4)	1) EGFR/ALK陽性肺癌のプロテオームとメタボローム解析 2) 小細胞肺癌の免疫チェックポイントに関する基礎的検討 3) 悪性中皮腫における新規分子標的の探索 4) がん化学療法による好中球減少時の感染症研究 5) 薬剤性間質性肺炎発症に関する分子マーカーの探索

<研究分野> 生理系分野

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
システム生理学	毛利 聡 (生理学1)	1) 酸素環境と心筋細胞の分裂制御メカニズム 2) 脊椎動物の心臓進化：コネクチン構造解析による冠循環出現時期の推察
神経構造機能学	宮本 修 (生理学2)	1) 精神・神経疾患に対する電気けいれん療法の作用機構の解明 2) 脳虚血耐性のメカニズム解明 3) 脳障害後の神経ネットワークリモデリング機構の解明 4) 脊髄損傷における神経再生機構の解明とその促進の試み 5) 脳刺激療法によるリハビリ効果の機構の解明
* 運動器再建生理学	長谷川 徹 (脊椎・災害整形外科学)	1) 同種運動器移植に関する免疫生理学的研究 2) 脊椎椎間板周囲に生じるサイトカインバランスに関する免疫生理学的研究 3) 高齢者脊椎疾患に対する低侵襲治療法の開発 4) 椎間板再生治療に関する免疫生理学的研究 5) 脊髄再生治療に関する免疫生理学的研究 6) 転移性脊椎腫瘍患者に対するリエゾン治療の確立評価 7) 転移性脊椎腫瘍に対する低侵襲治療法の開発 8) 骨粗鬆症リエゾンサービスネットワーク治療の体制確立評価 9) マイクロサージャリーにおけるテクニック、手術器具の開発
* 運動器再建再生学	三谷 茂 (骨・関節整形外科学)	1) 人工関節材料の開発 ・骨インプラント結合の改良 ・摺動面の改良 2) 3D-CTを用いた大腿骨形態解析 3) コンピューター支援手術の開発
* 運動器再生医工学	阿部 信寛 (スポーツ・外傷整形外科学)	1) 関節内構成体(靭帯・半月・軟骨)に対する修復促進因子の研究と再生医療への応用 2) 3次元画像解析を用いたスポーツ外傷及び障害の発生メカニズムの研究 3) 骨折治癒における経時的変形の3次元評価 4) 新規生体材料の生体親和性とその臨床応用 5) 新規人工膝関節の開発とそのバイオメカニクス 6) クラウドシステムを用いたオーダーメイド人工関節の医療提供 7) コンピューター支援ロボット人工関節手術の開発と研究
* 病態運動生理学	椿原 彰夫 花山 耕三 (リハビリテーション医学)	1) 嚥下障害の病態解析 2) 呼吸の三次元運動解析

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 神経病態生理学	宇野 昌明 (脳神経外科学1)	1) 症候性軽度頸動脈狭窄症のプラーク所見と再発の検討 2) 慢性硬膜下血腫と炎症との関連
* 神経病態生理学Ⅱ	八木田 佳樹 (脳卒中医学)	1) 若年性脳卒中に関する研究 2) rt-PA静注療法に関する研究 3) ソナゾイドを用いた頸動脈病変に関する研究 4) 脳卒中と新規抗凝固療法に関する研究
* 神経病態生理学Ⅲ	小野 成紀 (脳神経外科学2)	1) 神経内視鏡の脳神経外科疾患への応用 2) 脳卒中、頭部外傷、水頭症における脳損傷メカニズムの研究
* 循環器情報生理学	上村 史朗 (循環器内科学)	1) 超音波・光波を用いた心血管病態の解析 2) 動脈硬化症の発症・進展機序に関する研究 3) 心不全の病態解析と新規治療の開発 4) 患者レジストリーシステムを用いた循環器疫学研究
* 呼吸器病態生理学	柏原 直樹[代] (小橋 吉博) (呼吸器内科学)	1) 癌の個別化治療への分子免疫学的解析 2) 慢性気道炎症とアレルギー発症の関連 3) 免疫学的側面からみた呼吸器疾患 4) 呼吸器感染症の発症因子とその分子機構
* 循環病態生理学	種本 和雄 (心臓血管外科学)	1) 骨髄細胞による心筋再生に関する研究 2) 血小板機能に関する臨床研究 3) 大動脈瘤の数学的解析に関する研究 4) 人工血管への感染対策に関する研究
* 小児病態生理学	植村 貞繁 (小児外科学)	1) 漏斗胸の低侵襲手術の手術成績解析とさらなる治療法開発 2) 胸郭変形の評価に3D体表スキャナーを用いた研究
* 小児病態学	尾内 一信 中野 貴司 (小児科学)	1) クラミジア、マイコプラズマ感染症を主とする臨床微生物学 2) 感染症と病態の分子生物学的解析 3) 発熱性好中球減少症と全身性炎症性反応症候群等の原因微生物検出に関する研究 4) ワクチン予防可能疾患に関する研究 (インフルエンザ、ロタウイルス) 5) 悪性腫瘍における骨髄移植及び末梢血幹細胞移植に関する研究
* 尿路生殖器病態生理学	永井 敦 (泌尿器科学)	1) マウス精巣虚血モデルを用いた造精機能の変化と造精機能保護の検討 2) ラット下部尿路閉塞モデルを用いた膀胱血流の検討と新規治療薬の開発 3) マウス停留精巣モデルを用いた精巣内アポトーシスの解析と造精機能に及ぼす影響の検討 4) IDOノックアウトマウスを用いた造精機能の研究と慢性精巣上体炎発症の病態解析 5) IDOノックアウトマウスを用いた慢性前立腺炎の発症機序と治療法の検討 6) 下部尿路疾患における尿中バイオマーカーの検討 7) 前立腺肥大症と慢性炎症の関係に関する基礎的・臨床的研究 8) ヒトセミノーマ株を用いた抗癌剤耐性のメカニズムの解明 9) 泌尿生殖器癌患者に対する化学療法におけるL-カルニチンの臨床効果 10) タダラフィル投与後の血管内皮機能の検討と腎血流の検討 11) 泌尿生殖器疾患に対する種々の抗酸化物質の基礎的検討 12) 低侵襲手術の臨床的検討 13) カラードブラを用いた射精障害患者の病態解析
* 機能画像医学	曾根 照喜 (放射線核医学)	1) 骨構造の評価と骨強度との関係の解明 2) 運動と骨力学特性の関係に関する研究 3) 骨転移の診断法の開発 4) 分子病態イメージング研究

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 視覚病態生理学	桐生 純一 三木 淳司 (眼科学1)	1) 網膜硝子体疾患に関する臨床的研究 2) 加齢黄斑変性に対する光線力学療法よりも効率的な治療法の開発と類縁疾患への応用の研究 3) 増殖性網膜硝子体病変の発生解明と発生抑制薬剤に関する研究 4) iPS細胞を用いた網膜再生の研究
* 視覚病態生理学Ⅱ	長谷部 聡 (眼科学2)	1) 斜視、弱視の臨床的治療に関する研究 2) 学童期の近視進行や眼軸長過伸展抑制治療の研究
* 呼吸循環疼痛制御科学	中塚 秀輝 佐藤 健治 (麻酔・集中治療医学1)	1) 痛みの機序及び治療に関する研究 2) 麻酔関連薬の生体における動態に関する研究
* 周術期管理・集中治療医学	戸田 雄一郎 (麻酔・集中治療医学2)	1) 周術期疼痛管理に関する研究 2) 循環管理法に関する研究 3) 急性腎不全の評価と治療法に関する研究 4) 周術期血液凝固異常に関する研究
* 周術期管理・侵襲防御医学	片山 浩 (麻酔・集中治療医学3)	1) 周術期及び侵襲下における患者の評価 2) 最適なモニタリング方法の考案とその評価 3) 刻々と変化する病態に即応した対処方法の構築 4) 重症臓器不全に対する治療方法の研究
* 精神行動科学	石原 武士 (精神科学)	1) 自閉スペクトラム症など発達関連障害の評価と治療に関する研究 2) 神経症性障害の原因と治療に関する研究 3) うつ病の病因と治療に関する研究 4) 精神腫瘍学に関する臨床研究 5) 認知症の精神症状に関する臨床研究
* 感染症病態学	瀧川 奈義夫[代] (宮下 修行) (総合内科学1)	1) 肺炎の病態と予後に関する研究 2) 喘息・COPDにおける感染症の役割 3) 急性熱性疾患におけるバイオマーカーの意義 4) 胸部異常陰影の鑑別手法の開発 5) 急性咳嗽の病態と鑑別手法の開発 6) 慢性咳嗽の病態と鑑別手法の開発
* 循環制御内科学	小島 淳 (総合内科学3)	1) 虚血性心疾患に関する研究 2) 循環器領域における一次予防・二次予防に関する大規模臨床研究 3) 循環器疾患と睡眠時無呼吸に関する研究 4) 急性冠症候群の発症機序に関する研究 5) 急性心筋梗塞や心原性心停止と環境に関する研究 6) 地域や全国における心原性心停止に関する研究 7) アジア地域における循環器ガイドライン作成
* 女性機能病態医学	塩田 充 (婦人科腫瘍学)	1) 子宮筋腫の発生とその病態に関する研究 2) 子宮腺筋症の発生とその病態に関する研究 3) 子宮内膜症の発生とその病態に関する研究 4) 婦人科良性疾患に対する低侵襲手術の研究 5) 婦人科悪性疾患に対する低侵襲手術の研究 6) 婦人科腫瘍における血管新生調整因子発現に関する研究
* 婦人科腫瘍病態生理学	本郷 淳司 (産婦人科学2)	1) ヒトパピローマウイルス (HPV) による子宮頸部発癌に関する研究 2) 婦人科がんの機能温存治療に関する研究 3) 婦人科がん治療による下肢リンパ浮腫の予防と治療に関する研究 4) 婦人科がんにおけるIGF-IR関連シグナルの解析と分子標的治療の研究

<研究分野> 生化学系分野

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 血球生化学	和田 秀穂 近藤 英生 (血液内科学)	1) 溶血性貧血、特に赤血球膜蛋白異常症と自己免疫性溶血性貧血の病態解析と診断法の確立 2) 骨髄増殖性腫瘍をはじめとする造血器腫瘍の病態解析 3) 早期診断に向けたHIV/AIDSの疫学調査と病態解析 4) 同種さい帯血移植の成績向上に寄与する諸因子解析
* 病態検査学	通山 薫 北中 明 (検査診断学 (病態解析))	1) 血液細胞の増殖・分化・腫瘍化機構の解析 2) 骨髄異形成症候群に関する研究 3) 血液細胞分化及び造血器腫瘍の検査診断に関する研究
* ショック病態生化学	荻野 隆光 (救急医学)	1) 外傷性ショックの病態生理の研究 2) ドクターヘリの予後に与える効果の疫学研究
分子薬理学	岡本 安雄 (薬理学)	1) 機能性脂質の生理的及び病態生理学的意義の解明 2) 機能性脂質を標的とした創薬
* 創傷病態生化学	稲川 喜一 (形成外科学)	1) 創傷治癒の機序の解明 2) 再生医学に関する機構の研究 3) 微小血管吻合を用いた治療法の開発
医科分子生物学	栗林 太 山内 明 (生化学)	1) 免疫担当細胞の走化性機構の解析
* 分子代謝内分泌学	金藤 秀明 宗 友厚 (糖尿病・代謝・ 内分泌内科学)	1) 糖尿病をはじめとする代謝疾患の病態解析、特に膵β細胞機能調節機構などに関する研究及びそれに基づいた至適治療法の検索 2) 種々の内分泌疾患に関する病態解析、特に副腎皮質ステロイドなどに関する研究及びそれに基づいた至適治療法の検索
* 神経病態生化学	砂田 芳秀 (神経内科学)	1) 遺伝性神経・筋疾患の分子発症機構の解明と治療法の開発 2) 骨格筋幹細胞の分化誘導法の開発と再生医療への応用 3) ニューロパチーの電気生理学的診断法と新しい治療薬の開発研究
* 肝胆膵病態生化学	日野 啓輔 (肝胆膵内科学)	1) ミトコンドリアの品質管理と発癌 2) 肝発癌における酸化ストレス応答シグナルの解析 3) がん代謝とDrug delivery systemからみた新規固形がん治療法の開発 4) 鉄代謝とミトコンドリア品質管理
機能病態分子学	松田 純子 (病態代謝学)	1) 発生・発達・病態におけるスフィンゴ糖脂質の機能及び代謝制御機構の解明 2) 神経型ライソゾーム病及び神経変性疾患の病態解明と治療法開発 3) 膜脂質による細胞極性の動作原理の解明

<研究分野> 組織培養・免疫系分野

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 分子病態皮膚科学	青山 裕美 (皮膚科学)	1) ヘルペスウイルス感染による水疱形成機序の解明 2) 発汗障害に着目した炎症性皮膚疾患の病態解明 3) DPP-4阻害薬関連類天疱瘡の免疫学的動態の解明 4) 免疫再構築症候群のバイオマーカー探索
* 周産期・生殖・腫瘍免疫学	下屋 浩一郎 中村 隆文 (産婦人科学1)	1) 早産、子宮内感染の病態に関する研究 2) 妊娠高血圧症候群の発生機序に関する研究 3) 不妊・不育症における生殖免疫機序の関与に関する研究 4) 婦人科癌の集学的治療の研究 5) 動物モデルを用いた発癌研究 6) 新生児脳障害の病態解明及び治療法の開発 7) 妊娠中のストレス定量化と周産期事象との関連解析 8) 周産期超音波検査に関する研究
分子病原微生物学	齊藤 峰輝 (微生物学)	1) HTLV-1関連疾患の病態解明及び新規治療法に関する研究 2) バクテリオファージを用いた細菌感染症の新規治療法の開発 3) マンソン孤虫症における宿主免疫応答の解析 4) インフルエンザウイルス感染行動の解析 5) インフルエンザウイルス感染に対する宿主免疫応答の解析 6) インフルエンザウイルス及びHTLV-1の増殖機構の解析 7) インフルエンザワクチン開発のための基盤研究
* 分子血管・血圧制御学	柏原 直樹 佐々木 環 (腎臓・高血圧内科学)	1) インフラマソーム活性化とミトコンドリア障害の関連の解析 2) Nrf2活性化が慢性腎臓病病態形成に与える影響の検討 3) 糸球体における内皮細胞—上皮細胞連関機序解明 4) 腎不全マウスへの運動療法の効果 5) 糖尿病性腎症病態形成におけるエンドカンの意義の解析 6) 慢性腎不全による腸内細菌叢変化が腸管バリア機能に及ぼす影響の検討 7) AKI to CKD transitionの機序解明 8) 尿細管細胞再生におけるepigeneticsによる遺伝子発現制御機構の解明
* 内耳免疫・形態学	原 浩貴 秋定 健 (耳鼻咽喉科学)	1) 糖尿病と内耳障害に関する研究 2) 鼻呼吸障害が睡眠に及ぼす影響に関する研究 3) 嗅覚神経回路の解析 4) アレルギー性鼻炎の病態解析 5) 難治性副鼻腔炎の病態解析 6) バイオフィームに対する研究 7) 音響解析を用いたびき評価アルゴリズムの開発に関する臨床研究 8) 流体解析を用いた睡眠呼吸障害患者の上気道形態解析 9) 多点圧咽頭食道内圧計測システムを用いた嚥下動態解析 10) 音声障害モデル動物を用いた内喉頭筋機能解析 11) 全国頭頸部悪性腫瘍登録に登録されたHPV関連中咽頭癌を対象とする一次治療最適化のための観察研究 12) 日本における頭頸部悪性腫瘍全国登録 (HNCプロジェクト) 13) 高齢頭頸部癌患者の治療ならびに予後に関する研究
免疫病態学	石原 克彦 (免疫学)	1) 神経・腸管・免疫系制御分子BST-1/CD157の生体における機能 ・パーキンソン病非運動症状の分子機構 ・腸管におけるBST-1の機能と腸内常在細菌叢 ・血液系及び間葉系幹細胞制御機構 ・免疫応答制御における機能 (自然免疫、液性免疫) 2) 関節リウマチマウスモデルgp130F759の病態解析

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* リウマチ分子病態解析学	守田 吉孝 (リウマチ・膠原病学)	1) 炎症性骨破壊におけるアンジオテンシンⅡの役割の解明 2) 全身性エリテマトーデスマデルマウスにおけるアダプター蛋白SH3BP2の役割の解明 3) 自己炎症性疾患の炎症誘導・遷延機序の解明 4) 破骨細胞分化・骨代謝におけるタンキレースの役割の解明 5) マイオスタチン変異マウスの骨・筋解析

<研究分野> 環境生態系分野

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
分子予防環境医学	大槻 剛巳 (衛生学)	1) 繊維状・粒子状物質の免疫影響 2) 健康増進環境構築の試み
中毒病態解析学		平成31年度開講予定なし
* 疾病予防分子疫学	勝山 博信 (公衆衛生学)	1) 多臓器ネットワークにおける骨代謝の研究 2) 生理活性物質の骨代謝に及ぼす影響 3) 遺伝子多型と体質判定に関する研究
* 地域家庭医療学	柏原 直樹[代] (楠 裕明) (桑原 篤憲) (総合臨床医学)	1) 体外式超音波を用いた消化管運動機能評価 <p>超音波は非侵襲的に消化管自体の形態や運動、消化管内の内容物の性状を評価可能であるため、嘔気、悪心、胃もたれ、胃痛、腹部膨満、下痢、便秘などの様々な消化器症状の際に生じる消化管の変化を評価する事が可能である。特に消化管運動機能に関しては、他に生理的状态で長時間にわたり評価可能なモダリティーが存在しないこともあり、多くの疾患や症状の病態解明や薬効評価などに用いられている。われわれは、試験食にコンソメスープを用いた胃十二指腸運動機能検査法(超音波法)を考案し、機能性ディスペプシア患者を対象とした研究を多く発表してきたが、それらの多くは英文雑誌にアクセプトされており、国内外から多くの研究者が超音波法の見学に訪れている。また、彼らは本学で習得した方法を用いて地元で研究を続け、それぞれ多くの論文を発表しており、他大学で学位に至った研究も複数存在する。</p> <p>超音波法は上部消化管だけでなく下部消化管の形態や運動、内容物の性状も評価可能であるため、その研究は多岐に渡っており、便通異常などの病態解明や薬効評価にも貢献しつつある。</p> <p>本教室は総合診療専門医の育成プログラムを有しているが、超音波診断装置はどんな病院にも完備されており、きわめて非侵襲的であるため、小児から高齢者まで使用が可能である。したがって、へき地の各連携病院でも研究の継続が可能であり、これを学位のテーマに選択して研鑽を積み、より高度な超音波技術の習得に繋がるため、まさに総合診療医に最適な研究テーマであると思われる。本教室は多くの研究テーマを持っており、それらはいずれも総合診療医を目指す大学院生が、診療の傍ら研究マインドを維持していける臨床研究である。へき地からでも世界に情報を発信できる研究が可能であると信じる。</p>
		2) 診療の質に関する研究 3) 臨床研究のリテラシー教育に関する研究

専攻科目	指導教授	主たる研究内容
* 健康管理学	高尾 俊弘 鎌田 智有 (健康管理学)	1) メタボリック症候群、糖尿病や高血圧などに関連する生活習慣の検討 2) 生活習慣病に対する効果的な保健指導の研究 3) 健診の効果的実施に関する研究
* 応用医療情報学	(宮原 勅治) (医療資科学)	1) 高度医療情報人材育成に関する研究 2) 医療情報の活用、ビッグデータの医療への活用の研究 3) 医療プロジェクトマネジメントに関する研究 4) 医療情報経営研究